

9. 令和3年度埼玉県てんかん地域連携体制整備事業活動報告

埼玉医科大学病院小児科・てんかんセンター

山内秀雄

まとめ

- 1) 令和2年度埼玉県地域連携体制整備事業埼玉県てんかん診療拠点施設埼玉医科大学病院が実施した、てんかん診療医療連携協議会開催、相談体制、治療体制、研修の実施、てんかんに関する普及啓発事業、後援事業について報告した。
- 2) てんかん相談体制としては、埼玉医科大学病院内に設置された「埼玉県てんかん相談窓口」において「てんかん診療相談マニュアル」に基づき、電話による相談が行われた。
- 3) 治療体制として埼玉県内てんかん診療機関、治療レベル、診療連携状況を把握するための「埼玉県てんかん診療実態調査」を実施した。
- 4) 院内のてんかん研修については、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、医学生を対象とするてんかんセンターカンファレンスを計10回、特別講演会を1回開催し、医師と臨床検査技師を対象とする小児てんかんカンファレンスを52回開催した。また院外において脳波てんかん研究会を計4回施行した。COVID-19感染拡大が継続していたが、インターネットを利用したハイブリッド形式による院内研修については開催で当初予定した実施回数を行うことができた。しかしながら、院外施設でのてんかん研修は開催施設でのCOVID-19クラスター発生の可能性を考慮し、開催に対する最新の注意を行う必要があり、その実施は予定回数の半数に至らなかった。
- 5) 一般市民を対象としたてんかん啓発事業としてインターネットによる配信によるてんかん市民公開講座を令和3年11月21日に開催した。前半プログラムとしててんかんの一般的な知識による講演（颯佐かおり：埼玉医科大学病院小児科）、てんかんと運転免許（平田幸子：埼玉医科大学病院脳神経外科）、てんかんと精神症状（村田佳子：埼玉医科大学病院神経精神科）の3つの講演、後半プログラムとして質問・討論と設定した。後半の質問が70分間続きてんかんに対する熱心な討論が行われた。終了後のアンケート調査では、講演をアーカイブで残してほしい、スライド資料が欲しい、終了後の方が気兼ねなく質問できる、などの感想があった。今後の開催はインターネットがよいが60%、講堂がよいが7%、どちらでもよいが33%であり、開催日は日曜日の12時～15時の希望が最も多く、次点は土曜日12時～15時であった。市民公開講座はインターネットで開催するのが参加しやすいことや質問もしやすいことが判明した。所謂ポストコロナの時代となっても、てんかん啓発事業を含め、インターネットの利用は重要であると考えられた。

1. 緒言

平成30年11月1日に埼玉県てんかん地域連携体制整備事業に基づき埼玉医科大学病院は埼玉県てんかん診療拠点機関に指定された。その実務的な運営は主に埼玉医科大学病院てんかんセンターによって実施されているが、当センターは「学際的包括的連携による医療と福祉の理想郷を実現するため、高度なてんかん医療を提供する基幹施設として地域医療に貢献する」ことを理念とし、基本方針として、1) 患者さんの幸せのために安心して質の高いてんかん医療を実践し、地域医療に貢献する、2) 高度なてんかん医療を提供する地域基幹施設としての役割を果たし、関連施設との連携を行う、3) 人格的にすぐれ高い技能を持つ人材を育成し、診療に役立つてんかん研究の推進に努める、として主に埼玉県内におけるてんかん診療連携とてんかんの啓発を大きな2つの行動目標とし、令和3年度に実施した事業につ

いての報告を行う。

2. 令和3年度事業計画

令和3年度埼玉県てんかん地域診療連携協議会（協議会）は山内俊雄協議会長が議長を担当した。協議会委員は右表の通りである協議会では①令和2年度埼玉県てんかん診療拠点機関実績報告、②令和2年度全国てんかん対策連絡協議会報告がなされた。

令和2年度埼玉県てんかん診療拠点機関実績報告では埼玉医科大学病院てんかん外来に、コーディネーターとして看護師の配置、医師を含めた看護師との勉強会を開催したこと、作業部会による電話相談の実施、埼玉県内のてんかん診療拠点事業てんかん相談体制をウェブサイトで開設、県内医療機関のてんかん実地調査計画、連携診療などの体制

氏名	所属・役職
山内 秀雄	埼玉医科大学病院 小児科教授・てんかんセンター長
渡邊 さつき	埼玉医科大学病院 神経精神科講師
永露 とみえ	埼玉医科大学病院 てんかんセンター看護師
中本 英俊	TMGあさか医療センター てんかんセンター長
落合 卓	おちあい脳クリニック 院長
相川 博	大宮西口メンタルクリニック 院長
浜野 晋一郎	埼玉県県立小児医療センター神経科 科長、部長
関口 隆一	埼玉県立精神保健福祉センター センター長
丸山 浩	埼玉県川越市保健所 保健所長
福田 守	てんかん患者ご自身
高山 久男	てんかん患者のご家族
山内 俊雄	埼玉医科大学名誉学長・埼玉県てんかん治療医療連携協議会議長
丸木 雄一	埼玉県医師会常任理事会・埼玉精神神経センター
小松原 誠	埼玉県保健医療部 副部長
高橋 司	埼玉県保健医療部疾病対策課 課長
根岸 佐智子	埼玉県保健医療部疾病対策課 副課長
鹿島 まゆみ	埼玉県保健医療部疾病対策課 主幹
大竹 智英	埼玉県保健医療部疾病対策課 主幹
京増 洋樹	埼玉県保健医療部疾病対策課 主事
野口 清人	埼玉医科大学病院医務部事務局
廣田 開	埼玉医科大学病院医務部事務局

構築、他職種参加による研修の施行等が報告された。埼玉県地域連携体制整備事業の課題は、てんかん地域診療連携を推進し、医療機関に対するてんかんの助言・指導や一般市民に対する普及啓発を行うこととし、その行動目標は①てんかんの患者さんとご家族に対する専門的な相談、支援と治療を行う、②医療機関へのてんかんに関する普及啓発、専門的な助言指導を行う、③関係機関（精神保健福祉センター・県内医療機関・保健所・市町村・福祉事務所・公共職業安定所等）との調整を行い連携の深化を行う、④地域一般市民の方々に「てんかん」という病気を理解していただくための啓発を行うことである。令和3年度埼玉県てんかん診療拠点機関事業計画実施案もこれらの行動目標を基に提示された。即ち、てんかん相談体制としては1)「埼玉県てんかん診療相談マニュアル」に従いてんかん相談電話相談を行う。2) 埼玉県内医療機関を対象にてんかん診療に関する調査を行い、「埼玉県てんかん診療医療機関一覧」を作成し、一般市民および医療機関へのてんかん診療医療機関の所在地や医療水準などの情報提供を行う。3) 埼玉県てんかん診療拠点機関ホームページを立ち上げ、上記情報提供を行う。てんかん治療体制としては1)「埼玉県てんかん診療医療機関一覧」に基づき、埼玉県内のてんかん相談・診療体制のための「さいたまてんかん診療ネットワーク」を作成し埼玉県てんかん診療拠点機関ホームページに掲示する。てんかん研修の実施予定について院内外の医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師を対象とした研修が計画された。またてんかんに関するてんかん普及啓発事業の予定としては埼玉県てんかん診療連携体制整備事業市民公開講座、埼玉県てんかん診療連携体制整備事業てんかん啓発講座が計画された。その他てんかん関連事業として埼玉医科大学病院てんかんセンター特別講演会、埼玉県内てんかん診療専門施設内カンファレンスが後援事業として計画された。

3. 令和3年度事業実績

①てんかん相談体制としては、埼玉医科大学病院内に設置された「埼玉県てんかん相談窓口」において平成31年度に制作された「てんかん診療相談マニュアル」に基づき、令和3年度において電話による相談が計205件行われた。相談内容としては、専門機関での治療希望・病気の診断・薬の調整等が180件と最も多く、次いで検査希望・迷走神経電気刺激治療(VNS)の調整16件、妊娠中の治療希望・入院希望・転居の目的が9件であった。それらの対応としては、拠点機関において治療を開始201件、相談のみで終了が4件であった。

②てんかん研修実施(表:研修実績)としては、院内のてんかん研修については、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、医学生を対象とするてんかんセンターカンファレンスを計10回、特別講演会を1回開催し(表1)、医師と臨床検査技師を対象とする小児てんかんカンファレンスを52回開催した(表2)。また院外において脳波てんかん研究会を計4回施行した。COVID-19感染拡大が継続していたが、インターネットを利用したハイブリッド形式による院内研修については開催で当初予定した実施回数を行うことができた。しかしながら、院外施設でのてんかん研修は開催施設でのCOVID-19クラスター発生の可能性を考慮し、開催に対する最新の注意を行う必要があり、その実施は予定回数の半数に至らなかった(表3)。

③てんかん普及啓発事業としては一般市民を対象としたてんかん啓発事業としてインターネットによる配信によるてんかん市民公開講座を令和3年11月21日に開催した。前半プログラムとしててんかんの一般的な知識による講演(颯佐かおり:埼玉医科大学病院小児科)、てんかんと運転免許(平田幸子:埼玉医科大学病院脳神経外科)、てんかんと精神症状(村田佳子:埼玉医科大学病院神経精神科)の3つの講演、後半プログラムとして質問・討論と設定した。後半の質問が70分間続きてんかんに対する熱心な討論が行われた。終了後のアンケート調査では、講演をアーカイブで残してほしい、スライド資料が欲しい、終了後の方が気兼ねなく質問できる、などの感想があった。今後の開催はインターネットがよいが60%、講堂がよいが7%、どちらでもよいが33%であり、開催日は日曜日の12時~15時の希望が最も多く、次点は土曜日12時~15時であった。市民公開講座はインターネットで開催するのが参加しやすいことや質問もしやすいことが判明した。所謂ポストコロナの時代となっても、てんかん啓発事業を含め、インターネットの利用は重要であると考えられた。

表 1：埼玉医科大学病院てんかんセンターカンファレンス

埼玉医科大学第四講堂（インターネットによるウェビナー形式ハイブリッド開催）

開催日	担当診療科	発表者	司会	演題名
2021年4月15日	脳神経外科	平田幸子	山内秀雄	右前頭葉深部の異所性灰白質に伴う回転発作の一例
2021年5月20日	精神科	渡邊さつき	山内秀雄	神経鞘腫の術後4年で側頭葉てんかんを発症した1例
2021年6月17日	小児科	近藤聡美・寺西宏美	颯佐かおり	West 症候群の1例
2021年7月15日	脳神経外科	高島和彦	渡邊さつき	神経活動に対する解析と介入
2021年9月16日	脳神経内科	逆井裕太、横山立	渡邊さつき	抗 GAD 抗体関連脳炎に随伴したてんかんの1例
2021年10月21日	精神科	室井夏妃、渡邊さつき	山内秀雄	MRI 正常の難治性前頭葉てんかん症例
2021年11月18日	小児科	颯佐かおり	山内秀雄	脳梁形成不全・半球間裂嚢胞・結節性異所性灰白質のてんかん症例
2021年12月16日	脳神経外科	平田幸子	山内秀雄	頭蓋内電極留置術を経て前頭葉離断術を施行した回転発作の一例
2022年1月20日	精神科	渡邊さつき	山内秀雄	一瞬の迷いにより発作が誘発されるてんかんの1例
2022年2月21日	特別講演会	神経内科担当	山元敏正	てんかんの脳波判読（講師：寺田清人）
2022年3月17日	小児科	渡邊諒子	颯佐かおり	新生児けいれんの1例

月日	症例	年齢 (歳)
2021年2月9日	Panayiotopoulos syndrome	5
2021年2月16日	CSWS	6
2021年3月2日	West syndrome	7か月
2021年3月9日	EEG abnormality in ADHD	7
2021年3月16日	Child absence epilepsy	5
2021年3月23日	Occipital lobe epilepsy	6
2021年3月30日	Temporal lobe epilepsy	7
2021年4月6日	Juvenile absence epilepsy	11
2021年4月13日	Shedderling attack	2
2021年4月20日	Lennox-Gastaut syndrome	3
2021年4月27日	Focal epilepsy with multiple spikes	2
2021年5月11日	Child absence epilepsy	7
2021年5月18日	s/o Dravet syndrome	4

2021年5月25日	CSWS	20
2021年6月1日	Familial partial epilepsy	6
2021年6月8日	non-convulsive status epilepticus	13
2021年6月15日	Focal impairment of awareness seizure	7
2021年6月22日	Panayiotopoulos syndrome	5
2021年6月29日	West syndrome with tuberous sclerosis	5か月
2021年7月6日	Child absence epilepsy	7
2021年7月13日	Gastaut type occipital lobe epilepsy	11
2021年7月20日	Juvenile myoclonic epilepsy	10
2021年7月27日	Panayiotopoulos syndrome	5
2021年8月3日	Focal impairment of awareness seizure	7
2021年8月10日	FIAS status	4
2021年8月17日	IFO encephalopathy	7
2021年8月24日	mimic Rolandic epilepsy	8
2021年8月31日	Myoclonic absence epilepsy	7
2021年9月14日	mimic Child absence epilepsy	10
2021年9月21日	status epilepticus with ASD	2
2021年9月28日	focal epilepsy with neonatal brain infarction	2
2021年10月5日	Doose syndrome	2
2021年10月12日	FIAS with Intellectual disability	12
2021年10月19日	Myoclonic absence epilepsy	7
2021年10月26日	Lennox-Gastaut syndrome	2
2021年11月2日	neonatal seizure	2日
2021年11月9日	migraine	3
2021年11月16日	FIAS with Intellectual disability	10
2021年11月30日	West syndrome following neonatal seizure	1
2021年12月7日	Focal epilepsy	12
2021年12月14日	Epileptic seizure with falling episodes	2
2021年12月21日	Lennox-Gastaut syndrome	4
2021年12月28日	West syndrome	6か月
2022年1月11日	Brain tumor	12
2022年1月18日	Focal Epilepsy	4
2022年1月25日	Juvenile myoclonic epilepsy	11
2022年2月1日	BECCT	4
2022年2月8日	Focal epilepsy	5
2022年2月15日	Focal epilepsy	7

2022年2月22日	Juvenile myoclonic epilepsy	13
2022年3月1日	Focal epilepsy	7
2022年3月8日	Focal epilepsy	9

表2：小児神経てんかんカンファレンス（医師と臨床検査技師対象）
埼玉医科大学病院ビデオ脳波解析室

月日	司会	担当
2021年6月18日	山内秀雄	高田栄子
2021年7月8日	山内秀雄	平田幸子
2021年10月28日	山内秀雄	渡邊さつき
2021年11月25日	山内秀雄	山下博栄

表3：脳波てんかん研究会開催（埼玉医科大学かわごえクリニック会議室：
インターネットによるウェビナー形式ハイブリッド開催）

④埼玉てんかん診療連携医療機関一覧作成

てんかん診療医療機関におけるネットワーク構築にむけて埼玉てんかん診療連携医療機関一覧作成が行われた。埼玉県内のてんかん診療の実績のある施設にむけてアンケートを開始し回収中である。結果は埼玉県ウェブサイトなどで公開し、てんかんネットワーク構築に役立てる。